



わた なべ てる かず  
**渡辺 晃一**

つ し みん かい  
**津市民の会**

**一志地域の浸水解消と今後の見通しは**

**問** 改定後の雲出川流域洪水ハザードマップによると、一志地域の高野の洲合・日置・庄村・其村団地では浸水深3m、其村では5m以上で集落の水没を想定している。これは其村地先の雲出川右岸及び波瀬川左岸が無堤防であること、さらに高台の高野団地からの雨水の流入が原因である。国に対して堤防の嵩上げ及び排水ポンプ整備の要望と、市の雨水排水計画の策定を。

**答** 国土交通省において、雲出川の堤防整備を進める上で支障となっている農業用取水施設の小野江頭首工、波瀬川井堰を撤去するため、代替施設を設置し、平成30年度より運用を開始した。今後は不要となった施設の撤去を進める予定である。

また、河道掘削についても順次進めており氾濫解消に向け着実に取り組んでもらっているが、引き続き、堤防整備の早期着手を国に要望していく。

また、計画的に主要な排水路を整備していくためには多額の費用が必要となる。そのため、国の社会資本整備総合交付金が受けられるよう、一志地域の雨水排水計画を策定し、国の交付金事業による雨水排水対策に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○雑草が繁茂する空き地や危険な空き家の放置に対して、市の対応状況は。危険な特定空き家には、行政代執行の実施など強い姿勢が必要ではないか

○津シティマラソンで、国宝の専修寺を通るコースの検討を。

参加賞に湯の瀬や一志温泉やすらぎの湯の入場券はどうか

○市内農林水産物のブランド化と実績は など



▲其村地区内の常時浸水地域では、石垣の高さが約2m



さか い だ しげる  
**坂井田 茂**

い つ しん かい  
**一津会**

**教員が子どもたちと向き合う時間の確保を**

**問** 平成30年の教育方針の中で、「教員が子どもたちと向き合う時間の確保については、平成30年度から教員の負担軽減に向けた『教員支援員』を4名配置します」とあるが、その成果は。

また、大規模校4校だけではなく、小規模校も含め、全ての学校に配置する方向で検討を進めるのか、今後の方向性を問う。

**答** 教員支援員4名を、今年度、一身田小学校、千里ヶ丘小学校、橋北中学校、久居中学校に配置し、授業用プリントやPTA関係文書の印刷・仕分け、事務連絡や照会等のメール処理、各種会議の準備など、さまざまな業務の支援に従事させている。

その結果、教員が子どもたちと向き合う時間確保について、大変成果が出ているという意見や評価をいただいている。今後は、教員支援員と教員とのコミュニケーションがより図られ、きめ細やかな業務支援がさらに可能となっていくと考えられる。

支援員の勤務内容や効果を把握し、校長会等で、より有効な支援方法、効果をしっかりと検証した上で、平成31年度以降の配置拡大を検討していきたい。

●その他の質疑・質問●

○小中学校・幼稚園への教員等の配置に関して、教員の数は定数や基準に対して充足されているか

○外国人及び外国につながる児童生徒への対応に関して、初期日本語指導教室「きずな」の現状と副教室長配置による成果は

○三重短期大学の経営改善と将来構想につながる運営計画に関する検討の進捗状況は など



▲献身的に日本語を教える約70名のボランティアの方々